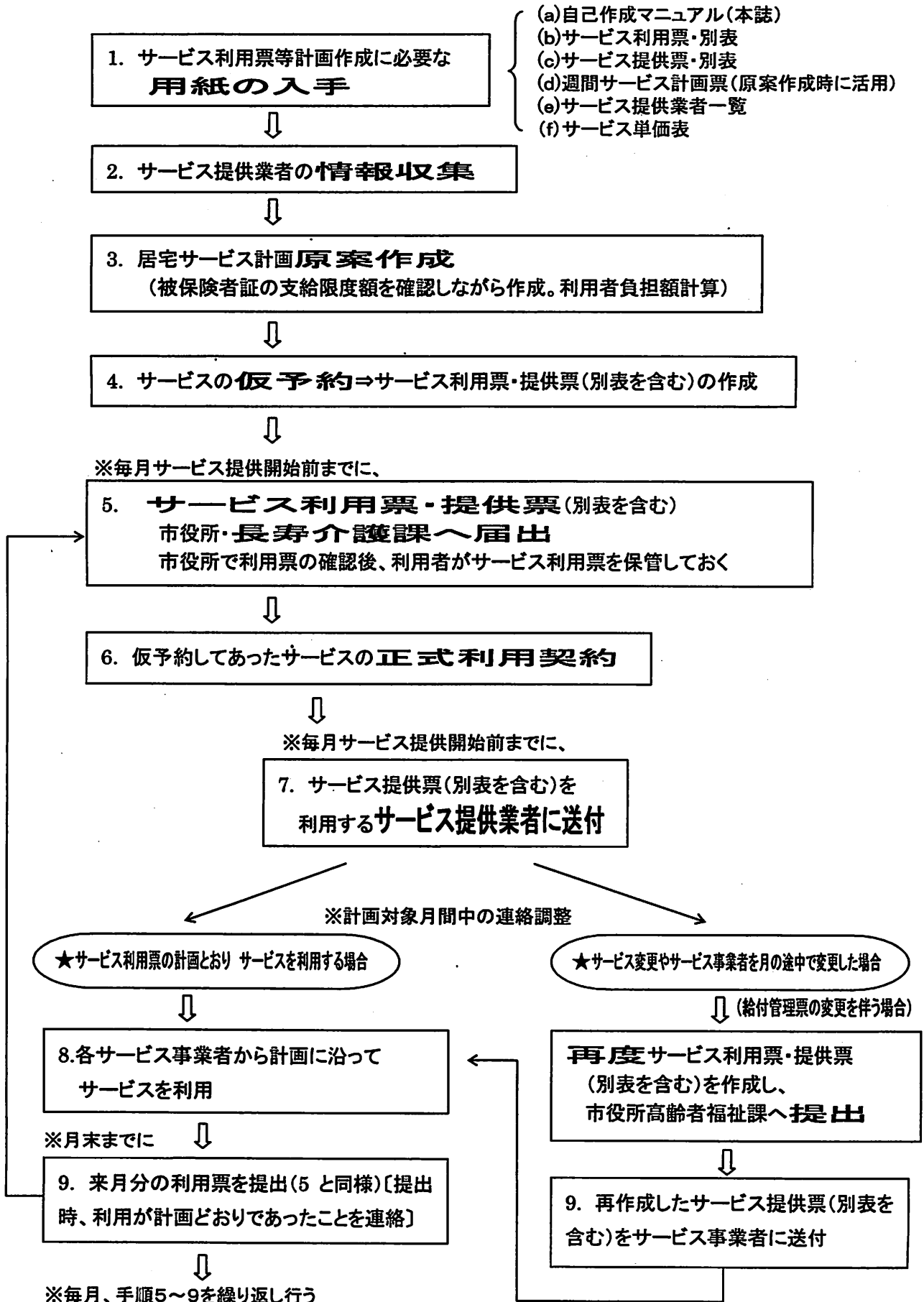
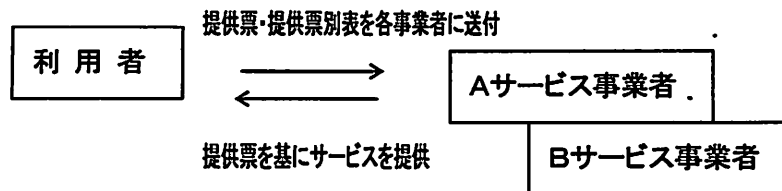


居宅サービス計画を自己作成する場合のスケジュール

★ 要支援・要介護認定者、申請中の方



- ★手順1
 - ・ 居宅サービス計画を自己作成するためには、下記の用紙が必要です。
 - * サービス利用票、サービス利用票別表
 - * サービス提供票、サービス提供票別表 ⇒ サービス事業者数ごとの枚数が必要です。
 - ※例えば… A事業者、B事業者の2つの事業者から、ホームヘルプサービスを受ける場合には2枚提供票が必要になります。
 - * 週間サービス計画表 ⇒ 居宅サービス計画原案作成に活用
- ★手順2
 - ・ どこに、どんなサービスがあるか等、情報を集めます。
 - * サービス事業者一覧表を参考にサービス事業者のサービス単価を把握する
 - ※例えば… ホームヘルプサービスは、担当のヘルパーの資格が2級か3級なのか、また、利用時間帯等により単価が異なる
 - 通所介護等では、利用時間の長さ・送迎・食事・入浴等で料金が異なる
- ★手順3
 - ・ どのサービスを受けたいのか、サービス単価を組み合わせ、支給限度額を超えないように、ケアプランをつくります。
- ★手順4・6
 - ・ 各事業者との契約について確認し、サービスの予約や、サービスの調整を行います。
- ★手順5
 - ・ 市役所でサービス利用票の内容を確認後、利用者が利用票を保管しておきます。
 - ・ 利用票はサービスを利用する度に、サービス利用業者が実績を記入します。
- ★手順7
 - ・ サービス事業者がサービスの提供日時や、内容、支給限度額範囲内かどうか確認するために、サービス提供票が必要となります。
 - ・ サービス提供票は利用する事業者数分(同じ内容のもの)必要であり、サービス提供票別表は、各事業者ごとの利用内容を記入します。



サービス計画自己作成時の注意点

- ・ 一世帯に複数の利用者がある場合には、それぞれの利用票と提供票の作成が必要です。
- ・ サービス計画を自己作成される場合には、サービスの調整や、限度額管理は自己責任となります。
- ・ 要介護状態など、状態変化に応じて、居宅サービス計画(ケアプラン)を見直すこととなります。
- ・ サービス計画と異なるサービスを利用した場合【サービスの種類・サービス内容・利用時間・利用時間帯(早朝、夜間等)・サービス事業者等の変更】は、必ず長寿介護課へ届出てください

居宅介護支援事業者にサービス計画を依頼した場合

- ・ 無料で、要介護者や家族の意思を尊重しながら、サービス計画を作成します。
- ・ サービス事業者の情報や、サービス事業者との連絡調整をします。
- ・ サービスを利用した場合に要する費用や、自己負担金額の計算をします。
- ・ 毎月、サービス利用票・サービス提供票を作成、管理し、全てのサービス事業者に送付します。
- ・ 専門的な立場から、望ましいサービス利用について、アドバイスします。また、要介護状態など状況の変化に応じて、サービス計画の見直しをします。

伊豆市役所 長寿介護課
TEL 74-0150